

L2-Tech 認証制度の概要

～先導的低炭素技術の情報発信～

峯岸 律子 (みねぎし りつこ) 環境省地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業 室長補佐

要約 環境省では、「L2-Tech・JAPAN イニシアティブ」として、エネルギー起源 CO₂ の排出削減に最大の効果をもたらす先導的 (Leading) な低炭素技術 (Low-carbon Technology) = L2-Tech (エルトゥーテック) の普及を推進している。平成 26 年度より、L2-Tech 情報の体系的な整理を行い、毎年「L2-Tech リスト」をまとめ、各設備・機器等の現時点における最高効率の水準を L2-Tech 水準として公表している。また、平成 27 年度からは、L2-Tech を世の中に発信し広く普及するために「L2-Tech 水準」に基づいたメーカー製品の認証を開始し、年に 2 回「L2-Tech 認証製品一覧」として公表している。本稿では、地球温暖化対策の国内外の動きを踏まえ、L2-Tech の位置付けを解説するとともに、L2-Tech リストによる情報発信及び L2-Tech 認証制度の概要を紹介する。

1. はじめに

平成 27 年 (2015) にフランス・パリで開催された気候変動枠組条約第 21 回締約国会議 (COP21) において、気候変動に関する 2020 年以降の新たな国際的な枠組みである「パリ協定」(Paris Agreement) が採択された。

昨年、平成 28 年 (2016) 11 月 8 日、国会での承認を経て、我が国はパリ協定の締結し、批准したことは記憶に新しいところである。

パリ協定には、世界共通の長期目標として 2°C 目標の設定や、すべての国による削減目標の 5 年ごとの提出・更新 (グローバルストックテイク)、各国の適応計画プロセスと行動の実施、先進国が引き続き資金を提供することと並んで途上国も自主的に資金を提供す



図 1 COP21 パリ協定の採択

ること、共通かつ柔軟な方法で各国の実施状況を報告・レビューを受けること、JCM を含む市場メカニズムの活用等が位置づけられている。

また、パリ協定は、歴史上初めて全ての国が参加する公平な合意であり、脱炭素社会に向けた転換点となるもので、この目的達成には、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指すこととされている。

今後は、こうしたパリ協定の長期的な目標を見据え、戦略的な取組を加速化していくことが重要となる。

2. L2-Tech・JAPAN イニシアティブ

パリ協定では各国が長期の温室効果ガス低排出発展戦略を策定し提出するよう努めるべきこととされ、COP21 決定では 2020 年までの提出が招請された。

我が国も、パリ協定で世界の共通目標となった 2°C 目標の達成に貢献するため、長期的な温室効果ガスの大幅削減に向け、革新的技術の研究開発はもとより、技術の社会実装、社会構造やライフスタイルの変革など長期的、戦略的取組について、引き続き検討していくこととなった。

本章では、パリ協定と地球温暖化対策計画を踏まえた L2-Tech イニシアティブの背景を説明する。

2.1 地球温暖化対策計画

我が国は、パリ協定を踏まえた今後の国内対策とし